

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【公開番号】特開 2012-222825 (P2012-222825A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 12 日 (2012.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-047
 【出願番号】特願 2012-87702 (P2012-87702)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 C

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラベース (3) 上に移動可能に装着されたカメラヘッド (2) と、
複数の発光素子 (5) と照明制御部 (6) とを含む照明装置 (4) と
を備え、場面を観察するように配置された P T Z カメラ (1) であって、
 照明制御部 (6) が、複数の発光素子 (5) の出力強度を制御するように配置され、
 照明制御部が、カメラのパン位置を含むカメラの視野方向設定に基づいて複数の発光素子 (5) の出力強度を個々に制御するように配置されており、その結果、カメラ (1) の視野方向において照明が提供されることを特徴とする、P T Z カメラ。

【請求項 2】

照明制御部 (6) が、カメラのズームレンズのズーム設定やズーム値といったカメラの
視野設定に基づいて複数の発光素子 (5) を個々に制御するように追加で配置されている、
 請求項 1 に記載のカメラ。

【請求項 3】

発光素子 (5) が、カメラベース (3) 上に装着されている、請求項 1 または 2 に記載
のカメラ。

【請求項 4】

発光素子 (5) が、カメラヘッド (2) の少なくとも一部を取り囲むリング型または部分的にリング型に装着されている、請求項 3 に記載のカメラ。

【請求項 5】

発光素子 (5) が、カメラのパン位置範囲に対応する曲線形状に沿って装着されている、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のカメラ。

【請求項 6】

発光素子 (5) が、発光ダイオード、すなわち L E D である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のカメラ。

【請求項 7】

発光素子 (5) が、赤外または近赤外スペクトルにおける放射を発するように適合されている、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のカメラ。

【請求項 8】

発光素子 (5) が複数のグループをなすように配置されており、かつ、照明制御部 (6

）が各グループ内の発光素子（５）を合同で制御するよう配置されている、請求項１～７のいずれかに記載のカメラ。

【請求項 ９】

複数の発光素子を提供する工程（１０）と、
複数の発光素子の出力強度を制御する工程（１１）と
を含む、カメラベース上に移動可能に装着されたカメラヘッドを有するＰＴＺカメラにより観察される場面を照らす方法であって、

出力強度を制御する工程が、カメラのパン位置を含むカメラの視野方向設定に基づいて複数の発光素子の出力強度を個々に制御し、その結果、カメラの視野方向において照明を提供することを含むことを特徴とする、方法。

【請求項 １０】

カメラの視野方向設定を決定するために配置されている位置センサからカメラの視野方向設定に関する情報を受信する工程をさらに含む、請求項９に記載の方法。

【請求項 １１】

カメラの視野方向設定を制御するよう配置されているカメラ制御部からカメラの視野方向設定に関する情報を受信する工程をさらに含む、請求項９または１０に記載の方法。

【請求項 １２】

カメラにより取り込まれた画像の画像処理に基づいてカメラの視野方向設定を決定する工程をさらに含む、請求項９～１１のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 １３】

周囲光強度に関する情報を受信する工程と、
周囲光強度が所定レベルを超える場合に、照明装置の全出力強度を低下させるように複数の発光素子を制御する工程と
をさらに含む、請求項９～１２のいずれか一項に記載の方法。